

※近畿圏ライフ初の大型モール内に出店したセブンパーク天美店



第 67 期

報 告 書

2021年3月1日～2022年2月28日



株式会社 ライフコーポレーション

「第六次中期計画」の取組みを完結させ、「お客様からも社会からも従業員からも信頼される日本一のスーパーマーケット」の実現を目指します。



名誉会長

清水信次



代表取締役社長執行役員

岩崎高治

取締役退任ご挨拶

～人生を振り返って～

名誉会長 清水信次

私は本年4月18日に満96才を迎えました。大正15年三重県津市で生を受け、大阪で旧制中学校へ入学後、剣道に刻苦精励して大日本武徳会剣道式段を取得し、剣道助教審判を務めるまでに至りました。昭和16年12月に始まった太平洋戦争は、急激に戦況が悪化し、戦闘員不足のため昭和18年12月に繰り上げ卒業となり、招集令状を受けました。私は軍部から剣道の特技が認められたため、陸軍の戦技特別研究要員として白兵戦の研究や軍刀・剣術の指導に当たりました。その後、陸軍特別幹部候補生として鉄道隊を志願し入隊しました。さらに戦況は悪化し、私は陸軍特別攻撃隊線第九十一部隊（特攻隊）に編入され、いよいよ死を覚悟しましたが、昭和20年8月15日に昭和天皇の御英断により終戦を迎え、九死に一生を得ました。復員後は大阪梅田の露天商から始まり、清水商店を代表として復興したのち、大阪中央卸売市場に乾物仲買と荷受会社を設立しました。昭和25年6月に朝鮮戦争が勃発すると単身で東京へ乗り出し、清水商店東京事務所を開設し輸入業を始めました。間もなくサンフランシスコ講和条約の公布によって規制が緩和されると、輸入事業を拡大すべくパインアップルとバナナの輸入団体の立ち上げに奔走し、設立へ漕ぎ着けました。これを契機として、昭和31年に現在のライフコーポレーション

の母体となる食品貿易事業会社の清水実業を設立後、順調に業容が拡大し、昭和36年11月にライフ1号店となる豊中店が誕生しました。株主の皆様をはじめ関係各位のご支援によって現在は売上高7,600億円、280店を超える企業にまで成長し、無事に60周年を迎えることが出来ました。この60という年月を人間に例えれば、ちょうど還暦に当たります。改めて人生を振り返った時、今ひとつの節目を迎えたように感じております。これまでの間、たくさんの素晴らしい人々と出会い助けられ、また荒波に揉まれながら危機に直面するも此れを乗り越え生き抜いて参りました。その中で特に深い思い出は、やはり平成8年5月イギリス・リヴァプールで岩崎さんと出会ったことです。三菱商事に嘆願して彼をライフへ迎え入れ、各要職を経験し、私の後継者として30代という若さで社長職を引き受けて貰いました。これまで社長として16年、会社組織のリーダーとして、日本を代表する食品スーパー「ライフ」のトップとして、その役割を今や立派に果たされております。生みの親として、育ての親として、私は一つの役目を終えました。今後は経営から一歩離れた立場で引き続きライフを支えて参ります。60周年を節目とした新しい経営体制のもと、地域の方々から支持される日本一のスーパーマーケットであり続けられるよう、皆様に御願い申し上げる次第です。

当期の状況

株主の皆様には、平素より格別のご支援並びにご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、ここに当社第67期事業年度の概況につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、度重なる新型コロナウイルス感染症拡大の影響により回復の動きは依然弱いといえます。また地政学リスク等わが国の経済に影響を及ぼす要因もあり、引き続き楽観できない状況にあります。そのような経済環境の中、当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、新型コロナウイルス感染症によってもたらされた内食需要の高まりは依然継続しているものの陰りも

みられます。加えて個人所得の伸び悩みや消費マインドの回復は限定的な中、価格競争の高まり、ネット通販の拡大、食品宅配の拡大、飲食店等のテイクアウト・デリバリーの拡大、垣根を超えた競争環境の激化に加え人件費や原材料費をはじめとした各種コストが上昇し、企業運営を取り巻く環境は厳しさを増しております。

「第六次中期計画」の取組み状況

ウィズコロナの環境下、当社グループは地域住民のライフラインとしての使命を果たすべく、お客様・従業員の安全・安心を最優先に密を避ける施策をはじめ、様々な対策を講じております。また、外出自粛に伴う観光客の減少等の影響を受けた生産者様、外食産業様、メーカー様への協力の観点から、産地応援セール等を継続的に実施いたしました。当連結会計年度のその他の主な取組みとして、ネットスーパー事業におきまして、初のモバイルアプリ版となる「ライフネットスーパーアプリ」の提供を2021年3月より開始し順調にダウンロード数を獲得しております。配送面ではネットスーパー・来店宅配サービスにおける安定した高い品質の配送網を構築するために、間口ホールディングス株式会社と共同でラストワンマイルを担う新会社「株式会社ライフホームデリバリー」を4月に設立、6月より事業を開始し2022年2月末現在、ネットスーパーで9店舗、来店宅配25店舗で稼働する等事業を漸次拡大しております。組織面ではネットスーパー事業の一層の深耕・拡大をスピードアップし推進するため、2022年1月に社長直轄組織として新設したネットビジネス本部に関連組織を再編しております。また、創業60周年と自社クレジットカード「LC JCBカード」の発行5周年を記念した特別企画を2021年9月から2022年2月末まで実施するとともに、1月にカード事業部を新設するなどカード会員数と利用の拡大に努めております。さらに、当社が2019年9月より出店を始めたAmazonプライム会員向けサービスについては、配送地域を拡大しております。加えて、からだに優しい素材や製法、健康や自然志向にあわせたプライベートブランドである「BIO-RAL（ビオラル）」の商品開発・品揃えを強化するとともに、ナチュラルスーパーマーケット「BIO-RAL（ビオラル）」の店舗・コーナーを新設しております。新規店舗としては、8店舗を出店する一方、3店舗閉鎖いたしました。また、既存店舗の改装としては、合計32店舗でお客様のニーズの変化に対応した改装を積極的に行いました。

当社グループの業績と今後

当社グループの業績におきましては、新規店舗、ネットスーパーなどのeコマース（EC、電子商取引）の拡大、「BIO-RAL（ビオラル）」等のプライベートブランド商品の強化、おいしさを追求した商品施策等の効果が寄与し、営業収益は、7,683億35百万円（前期比1.2%増）となるとともに、荒利率の改善により売上総利益は増益となりました。一方、販管費は、採用強化等に伴う人件費の増加に加え、新規出店に伴う賃借料、伸長しているEC強化

等の物件費も増加したことから、営業利益は229億32百万円（前期比16.3%減）、経常利益は236億95百万円（前期比15.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は152億8百万円（前期比14.7%減）と、何れも前期を下回る結果となりました。セグメントごとの業績は次の通りです。（小売事業）営業収益は7,673億79百万円（前期比1.2%増）、売上高は7,450億80百万円（前期比1.2%増）、セグメント利益は235億56百万円（前期比15.8%減）となりました。なお、部門別売上高は、生鮮食品部門3,230億82百万円（前期比2.6%増）、一般食品部門3,243億43百万円（前期比0.9%増）、生活関連用品部門648億23百万円（前期比3.2%減）、衣料品部門231億50百万円（前期比1.6%減）、テナント部門96億80百万円（前期比0.01%増）となりました。（その他）株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は24億15百万円（前期比3.7%増）、セグメント利益は1億39百万円（前期比24.5%減）となりました。今後の小売業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による行動様式の変化から内食需要の高まりは継続しているものの、今後、企業収益の悪化、個人所得の伸び悩み、消費マインドの低下が懸念される等、依然厳しい状況にあり、ネット通販大手を含む業態を超えた生鮮食品分野への進出等、業界内の動きは激しくなっております。このような厳しい環境の中、よりお客様に信頼される地域一番店を実現するために2018年度よりスタートした「第六次中期計画」については、コロナ禍で積み残し課題もあるため1年延長し2022年度を総仕上げの年度として取り組んでまいります。また、第六次中期計画での反省及び外部環境の変化を踏まえたうえで、当社の現状課題を再確認しつつデータやテクノロジーを活用した施策やネットスーパー、「BIO-RAL（ビオラル）」及びオリジナル商品の拡大等により同質競争から脱却しライフらしさに磨きをかけるべく2023年度より新たにスタートする第七次中期計画につなげてまいります。なお、新型コロナウイルス感染症は、食品スーパー業界には内食需要をもたらす一方で、業種によっては経営に深刻な影響を与えるなど、業績動向の見極めを非常に困難にしています。しかしながら、当社は、ウィズコロナの不透明な状況でも、「第六次中期計画」総仕上げの年度（2022年度）の当社グループの業績見通しを、営業収益7,700億円、営業利益232億円（前期比1.2%増）、経常利益240億円（前期比1.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益155億円（前期比1.9%増）といたしました。引き続き「第六次中期計画」の目標として掲げた「「ライフらしさ」の実現」のため、すべての施策に対して「お店が主役」であることを前提に、「人への投資」「店舗への投資」及び「商品への投資」を着実に実行してまいります。

今後とも株主の皆様には変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新規出店 NEW!

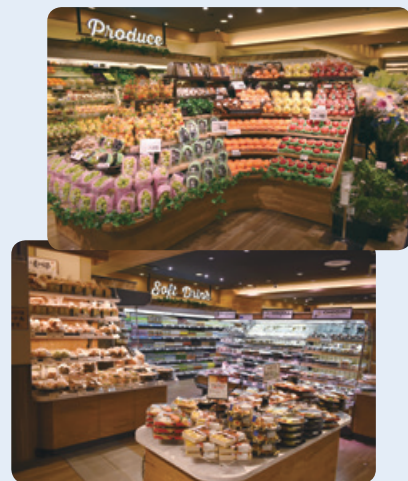
8店舗を新規出店

当期は3月に東日暮里店、4月に溝口店、9月に四条烏丸店、本郷三丁目駅前店、10月にビオラルエキマルシェ大阪店、11月にセブンパーク天美店、12月に枚方T-SITE店、2月にビオラル下北沢駅前店を新規出店いたしました。

NEW! 1 本郷三丁目駅前店

東京都文京区(2021年9月 開店)

文京区初出店となる当店は、都営大江戸線・東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目」駅から徒歩約3分と駅から近い13階建てマンションの1・2階に開店いたしました。周辺にはオフィスや東京大学があることから、通勤・通学前にも立ち寄りいただけるよう平日は8時に開店しております。コンパクトな売場ながら、豊富な品揃えで地域のお客様の生活に寄り添い、地域から愛されるお店をめざします。



NEW! 2 セブンパーク天美店

大阪府松原市(2021年11月 開店)

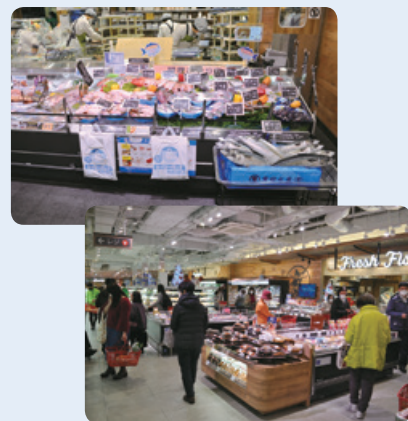


大阪府松原市に開業した大型ショッピングモール「セブンパーク天美」内の1階に開店いたしました。松原市は、近年土地整備により住宅や商業施設の開発が盛んで、ニューファミリー層に人気の地域です。モール型店舗ならではのこごちそうメニューや、味も見た目のおいしさもお楽しみいただける新商品を品揃えし、当店だけの限定商品も品揃えいたします。“おいしい・ワクワク・ハッピー”と感じていただけるライフらしいお店づくりを心掛け、地域から愛されるお店をめざします。

NEW! 3 枚方T-SITE店

大阪府枚方市(2021年12月 開店)

京阪本線「枚方市」駅前の商業施設「枚方T-SITE」内の地下1階に開店いたしました。「枚方市」駅周辺は、市役所などの公共施設や商業施設・学校が多く、昼間人口が多い地域です。通勤や通学で駅を利用される方が多いため、惣菜の品揃えに力を入れ、ヘルシー系からガッツリメニューまで、ライフ自慢のお弁当やお寿司を種類豊富に品揃えいたします。また、手作りニーズにお応えする鮮度抜群の生鮮食品など、お客様のご要望に沿った幅広い品揃えで、地域から愛されるお店をめざします。



既存店舗の改装 RENEWAL!

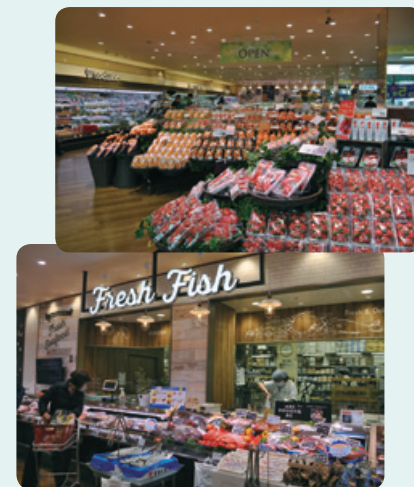
大型改装を32店舗実施

当期は大淀店、巽店、長田店、経堂店、滝谷店、二条駅前店、セントラルスクエア森ノ宮店、府中中河原店、弁天町店他、合計32店舗を改装し、店舗の活性化を図りました。

RENEWAL! 1 巽店

大阪府大阪市(2022年1月 改装)

当店が所在する巽エリアは、住宅街を中心に昔ながらの街並みが広がり、シニア層の多い地域です。都心部へのアクセスの良さから、近年は20~30代の少人数世帯も増加しています。地域ニーズにお応えするため、水産・惣菜売り場に対面調理場を設置するなど、お買い物のワクワク感をより感じていただけます。装いを新たに、生まれ変わった売り場と豊富な品揃えで、地域から愛されるお店をめざします。



RENEWAL! 2 経堂店

東京都世田谷区(2022年2月 改装)



100円ショップ「キャンドウ」を地下1階から1階に移設し、レジの場所を移動させることで食品売り場全体が拡大し、生鮮食品や加工食品などの品揃えが豊富になりました。さらに体に優しい素材や製法、健康や自然志向にあわせた商品を集めた「ビオラルコーナー」を新設いたしました。内装や商品ケースを刷新し装いを新たに、生まれ変わった売り場と豊富な品揃えで、地域から愛されるお店をめざします。

RENEWAL! 3 長田店

兵庫県神戸市(2022年2月 改装)

当店が所在する神戸高速鉄道「高速長田」駅・神戸市営地下鉄「長田」駅付近は、長田区の中心部で区役所などの公共施設が集まるエリアで、アクセスの良い場所に位置しています。今回の改装では、水産・惣菜売り場に対面調理場を導入し、お買い物物がさらに楽しくなる売り場に生まれ変わりました。また、「ビオラルコーナー」を設置し、全館魅力あふれるお店にリニューアルいたしました。装いを新たに、生まれ変わった売り場と豊富な品揃えで、地域から愛されるお店をめざします。



トピックス

サステナビリティ



食品廃棄物を削減し持続可能で豊かな社会を実現 業界最大規模の天保山バイオガス発電設備が本稼働開始

食品廃棄物の削減と再生可能エネルギーの発電を実現するバイオガス発電設備が完成し、2022年3月に本稼働を開始いたしました。食品を加工・製造しているプロセスセンターで発生した生ごみからバイオガスを生成させ、それを燃料に発電を行います。

年間約4,380トンの生ごみを削減し、年間の発電量は一般家庭約160世帯分の約70万kWhを見込んでおり、小売業では日本最大規模の設備となります。



■バイオガス発電について

地球温暖化の原因になっているCO₂(二酸化炭素)の排出量削減のため、注目されているのが再生可能エネルギーです。その一つであるバイオガス発電は、食品廃棄物などを発酵させ発生したバイオガスを燃料に発電を行うシステムです。この発電方法は、活用されていない食品廃棄物を利用するため、環境への負担を減らすことができます。

プラスチック製ストロー・スプーンを紙製・木製へ切り替え ライフ全店舗で2022年4月から順次開始

プラスチック削減の取り組みとして、店舗で提供しているストロー・スプーンをプラスチック製から紙製・木製に2022年4月から順次切り替えています。全店で切り替えが完了すると、年間で約1,700万本のプラスチック製ストロー・スプーンの削減に繋がります。

当社は持続可能で豊かな社会の実現に貢献するため、環境に配慮した取り組みを今後も推進してまいります。



スーパーマーケット「ライフ」として初めて建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS) の最高ランク及び50%以上の省エネルギーを実現した「ZEB Ready」認証を取得

2022年内に新店を計画している豊洲店において、高効率ヒートポンプを採用した高性能空調設備、照明制御などの技術を導入することで建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS) による5段階評価の最高ランクを獲得するとともに、50%以上の省エネルギーを実現した「ZEB Ready」認証を取得いたしました。

さらに、同じく2022年新店計画の(仮称)横浜花之木町店においても、同様にBELSにおける最高ランクと「ZEB Ready」認証を取得する予定となっております。店舗運営におけるエネルギー使用量を抑制することで、地球温暖化の主たる原因とされるCO₂(二酸化炭素)の排出を削減いたします。



※豊洲店イメージ図



※(仮称)横浜花之木町店イメージ図 (横浜市旧南区総合庁舎跡地開発ZEB化事業)

BIO-RAL(ピオラル)



ライフがプロデュースするナチュラルスーパーマーケット「ピオラル」が続々オープン！ ピオラル店舗3号店「ピオラルエキマルシェ大阪店」、4号店「ピオラル下北沢駅前店」がオープン！

2021年10月にピオラル店舗3号店となる「ピオラルエキマルシェ大阪店」(大阪府大阪市)、2022年2月に4号店となる「ピオラル下北沢駅前店」(東京都世田谷区)がオープンいたしました。

●ピオラルエキマルシェ大阪店



和歌山県産を中心とした地場野菜を品揃え



駅ナカ店舗なので「よしみち」で気軽に立ち寄れる場所



天然由来の素材にこだわったスキンケア・ヘアケア商品の品揃え

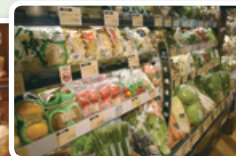
●ピオラル下北沢駅前店



有機玄米を使用したお弁当などを種類豊富に品揃え



お米が主原料のあこ天然酵母を使用したパン



東京育ちの地場野菜を品揃え

EC事業



NTT コム オンライン NPS®ベンチマーク調査2021【ネットスーパー】にて「ライフネットスーパー」が2年連続で第1位を獲得



顧客ロイヤルティを測るNPS®ベンチマーク調査(NTTコム オンライン実施)において、2年連続で第1位を獲得いたしました。

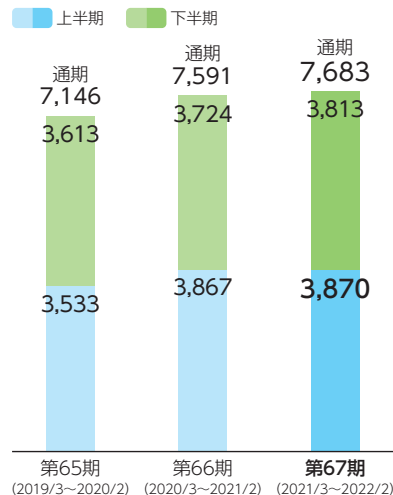
ライフネットスーパーは、「品揃えの豊富さ」「生鮮食品の鮮度の良さ」などの商品面での評価に加え、「ウェブサイトの分かりやすさ、使いやすさ、登録のしやすさ」「配達時の梱包や配達員の対応など、配達の高さ」といったサービス面においても高い評価をいただきました。コロナ禍でネットスーパーへのニーズが一層高まっている中、これからもライフネットスーパーはお客様にご満足いただけるよう、安全・安心な商品とより良いサービスを提供してまいります。



連結決算の概要

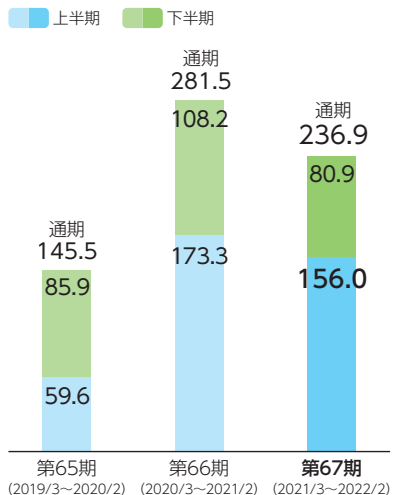
営業収益の推移

単位:億円 ※1億円未満切り捨て



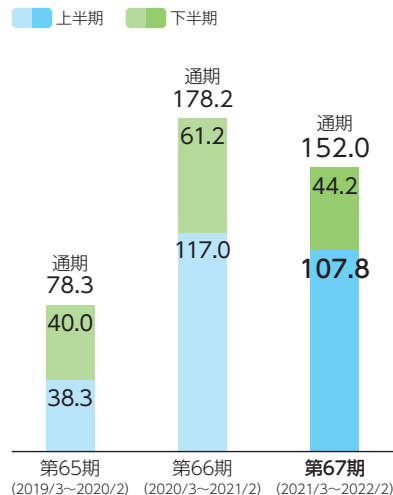
経常利益の推移

単位:億円 ※1千万円未満切り捨て



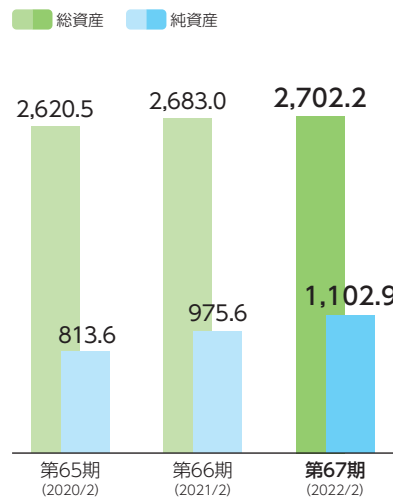
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益の推移

単位:億円 ※1千万円未満切り捨て



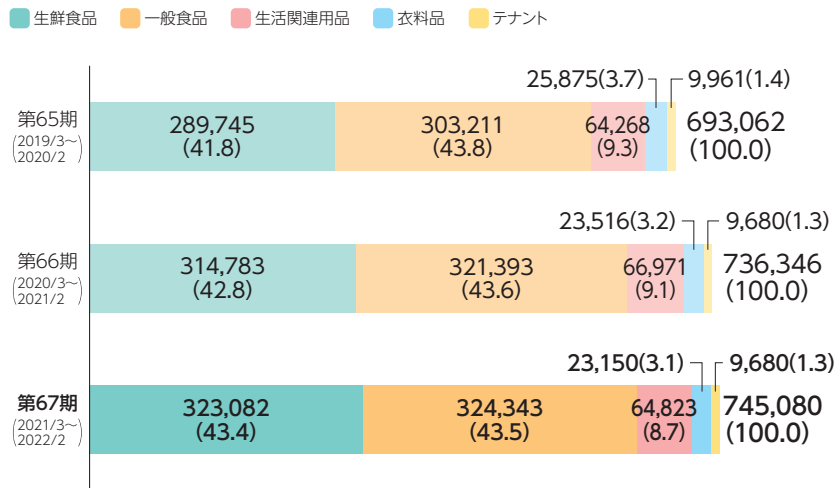
総資産・純資産の推移

単位:億円 ※1千万円未満切り捨て



部門別売上高の推移

単位:百万円 ()内は構成比率% ※百万円未満切り捨て



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

	当連結会計年度 2022年2月28日現在	前連結会計年度 2021年2月28日現在
資産の部		
流動資産	74,480	74,668
固定資産	195,748	193,638
有形固定資産	150,490	147,452
無形固定資産	3,508	3,635
投資その他の資産	41,749	42,551
資産合計	270,229	268,307
負債の部		
流動負債	132,478	130,466
固定負債	27,451	40,280
負債合計	159,929	170,747
純資産の部		
株主資本	110,923	98,298
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	5,628	11,613
利益剰余金	99,221	86,595
自己株式	△ 3,930	△ 9,914
その他の包括利益累計額	△ 623	△ 738
その他有価証券評価差額金	357	375
土地再評価差額金	△ 1,114	△ 1,114
退職給付に係る調整累計額	133	0
純資産合計	110,299	97,560
負債純資産合計	270,229	268,307

連結損益計算書

単位:百万円

	当連結会計年度 2021年3月1日から 2022年2月28日まで	前連結会計年度 2020年3月1日から 2021年2月28日まで
売上高	745,080	736,346
売上原価	514,356	510,681
売上総利益	230,724	225,664
営業収入	23,254	22,800
営業総利益	253,978	248,464
販売費及び一般管理費	231,046	221,075
営業利益	22,932	27,388
営業外収益	1,058	1,070
営業外費用	294	302
経常利益	23,695	28,156
特別利益	249	272
特別損失	1,632	3,561
税金等調整前当期純利益	22,312	24,867
法人税、住民税及び事業税	6,684	7,343
法人税等調整額	420	△ 299
法人税等合計	7,104	7,043
当期純利益	15,208	17,824
親会社株主に帰属する当期純利益	15,208	17,824

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当連結会計年度 2021年3月1日から 2022年2月28日まで	前連結会計年度 2020年3月1日から 2021年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,926	41,747
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,303	△ 20,587
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,695	△ 19,029
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 5,533	2,130
現金及び現金同等物の期首残高	14,943	12,813
現金及び現金同等物の期末残高	9,409	14,943

(注)連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

店舗一覧

近畿圏

大阪府 124店舗

豊中店	泉尾店	新北島店	西九条店	昭和田駅前店	西淡路店
塚本店	百舌鳥店	歌島店	寝屋川黒原店	緑橋店	住吉山之内店
岡町店	箕面店	関目店	大田町店	御幣島店	空堀店
桃山台店	福泉店	庄内店	天神橋店	セントラルスクエア	玉出東店
北野田店	門真店	ピオラル靱店	太平寺店	西宮原店	Miniel西本町店
高石店	横堤店	喜連瓜破店	三津屋店	京橋店	安田諸口店
初芝東店	江口店	吹田泉町店	セントラルスクエア	堺駅前店	箕面桜ヶ丘店
忠岡店	守口寺方店	新深江店	なんば店	玉造店	中崎町駅前店
福田店	深江橋店	服部店	下寺店	セントラルスクエア	朝潮橋駅前店
豊里店	十三東店	野田店	出屋敷店	北畠店	堺インター店
城山台店	四天王寺店	志紀店	石津店	清水谷店	★ピオラルエキマ
恵我之荘店	長居店	此花伝法店	西天下茶屋店	セントラルスクエア	ルシエ大阪店
国分店	玉串店	寝屋川店	岸部店	森ノ宮店	★セブンパーク
出来島店	住吉店	牧野店	加賀屋店	高殿店	★天美店
滝谷店	都島高倉店	高槻城西店	久宝寺駅前店	羽曳野西浦店	★枚方T-SITE店
御崎店	生野林寺店	大仙店	土佐堀店	東淡路店	
箕店	八尾竹淵店	豊津店	大淀中店	阿波座駅前店	
平野西脇店	菱江店	西大橋店	弁天町店	堺筋本町店	
今里店	南津守店	香里園店	あびこ店	旭大宮店	
杭全店	崇禅寺店	新石切店	西田辺店	堂島大橋店	
八尾店	本庄店	なかもず店	塩草店	寺田町駅前店	
和泉大宮店	御殿山店	毛馬店	太融寺店	八戸ノ里店	
高井田店	正雀店	三国橋店	東大阪長田店	鶴見今津北店	

兵庫県 17店舗

甲子園店	今津駅前店
武庫川店	本山店
福崎店	春日野道店
御影店	下山手店
尼崎大西店	須磨鷹取店
浜甲子園店	西宮北口店
西代店	夙川店
神戸駅前店	阪神鳴尾店
長田店	

京都府 16店舗

寺田店	西陣店
男山店	二条駅前店
壬生店	北白川店
西京極店	セントラルスクエア
太秦店	西大路花屋町店
伏見深草店	川端東一条店
西七条店	智恵光院店
梅津店	★四条烏丸店
宝ヶ池店	

奈良県 3店舗

御所店
大淀店
トナリエ大和高田店

160店舗

(2022年2月28日現在)

首都圏

東京都 84店舗

板橋店	新大塚店	石神井台店	菊川店	京急蒲田駅前店
仲宿店	経堂店	水元店	落合南長崎駅前店	西小岩店
笹塚店	赤塚店	亀戸店	練馬中村北店	東砂店
南台店	船堀店	幡ヶ谷店	目黒大橋店	鶴の木店
竹の塚店	前野町店	大泉学園駅前店	上池台店	キテラタウン調布店
中目黒店	北赤羽店	六町駅前店	西蒲田店	氷川台店
瑞江店	東尾久店	大崎百反通店	中野坂上店	東馬込店
篠崎店	渋谷東店	大森中店	若松河田駅前店	東府中店
鹿骨店	中野駅前店	扇大橋駅前店	新桜台駅前店	マチノマ大森店
西大泉店	浅草店	江北駅前店	ココネリ練馬駅前店	ムスブ田町店
府中中河原店	武蔵小山店	大谷田店	ポンテポルタ千住店	桜新町店
深川猿江店	千川駅前店	奥戸店	東五反田店	本一色店
平和台店	石神井公園店	神田和泉町店	錦糸町駅前店	コモレ四谷店
土支田店	東向島店	南千住店	新御徒町店	ピオラル丸井吉祥寺店
葛飾鎌倉店	東中野店	奥戸街道店	品川御殿山店	★東日暮里店
中野新井店	アクトピア北赤羽店	大崎ニューシティ店	セントラルスクエア	★本郷三丁目駅前店
大森南店	千歳烏山店	葛飾白鳥店	押上駅前店	★ピオラル北沢駅前店

125店舗

(2022年2月28日現在)

埼玉県 7店舗

北越谷店	吉川栄町店
指扇店	蕨駅前店
吉川駅前店	
新座店	
さいたま新都心店	

神奈川県 29店舗

東有馬店	希望が丘店	宮内二丁目店
鶴見店	川崎京町店	戸塚汲沢店
高津新作店	相模原モール店	有馬五丁目店
川崎桜本店	相模原若松店	川崎大島店
川崎御幸店	大倉山店	鶴見下野谷町店
大口店	子母口店	青葉しらとり台店
宿河原店	相模大野駅前店	川崎ルフロン店
相模原駅ビル店	中原井田店	グランシップ大船駅前店
向ヶ丘遊園店	上鶴間店	★溝口店
鎌倉大船モール店	宮崎台店	

千葉県 5店舗

松戸二十世紀ヶ丘店
佐倉店
宮野木店
増尾店
市川国分店

(順不同)

合計
285店舗

(注) 1. ★印の店舗は、2021年度新規出店店です。 2. 2021年8月に学園前店(奈良県奈良市)、2021年10月に天美店(大阪府松原市)、2022年2月に毛呂山店(埼玉県入間郡)を閉鎖いたしました。

会社情報

会社概要 (2022年2月28日現在)

商号	株式会社ライフコーポレーション LIFE CORPORATION
創業	1910年
設立	1956年10月24日
資本金	10,004,000,000円
従業員の状況 (単体)	人数:6,839名 平均年齢:41.2歳 平均勤続年数:15.4年
本店及び各本社	本店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号 電話(03)3661-4001(代)
	大阪本社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原二丁目2番22号 電話(06)6150-6111(代)
	東京本社 〒110-0016 東京都台東区台東一丁目2番16号 電話(03)5807-5111(代)
グループ会社	株式会社ライフフィナンシャルサービス (クレジットカード、電子マネー事業)

役員一覧	取締役名誉会長	清水信次
	※取締役社長執行役員	岩崎高治
	取締役専務執行役員	並木利昭
	取締役専務執行役員	森下留寿
	取締役常務執行役員	角野喬
	取締役常務執行役員	河合信之
	取締役	成田恒一
	取締役	堤はゆる
	取締役	矢矧晴彦
	取締役	河野宏子
	常勤監査役	末吉薫一
	監査役	浜平純一
	監査役	真木光夫
	監査役	宮竹直子

(注) ※は、代表取締役であります。

株式情報

○株式の状況

(2022年2月28日現在)

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	49,450,800株
株主数	5,320名

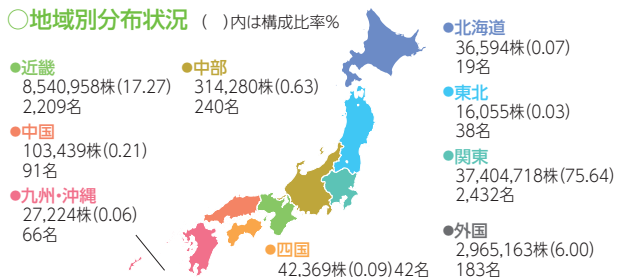
○大株主

株主名	持株数(株)
三菱商事株式会社	10,562,500
清信興産株式会社	5,382,000
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,975,700
公益財団法人ライフスポーツ財団	3,229,200
ライフ共栄会	2,317,612
三井住友信託銀行株式会社	2,264,000
農林中央金庫	2,100,276
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	799,500
住友生命保険相互会社	737,000

○所有者別分布状況

所有者	株主数(名)	株式数(株)	構成比率(%)
金融機関	29	13,568,826	27.44
証券会社	31	843,832	1.71
その他の国内法人	324	24,288,161	49.11
外国法人等	203	2,976,865	6.02
個人・その他	4,732	5,279,914	10.68
自己株式	1	2,493,202	5.04
合計	5,320	49,450,800	100.00

○地域別分布状況 ()内は構成比率%



単元未満株式の買取請求のご案内

単元未満株式の買取請求とは、1単元(100株)未満の当社株式を、株主様が当社に対して時価で売却することができる制度です。1単元(100株)未満の株式は証券取引市場で売買していただくことができません。

単元未満株式の買取に関するお手続き

- 1 証券会社に口座を開設されている株主様
証券会社に口座を開設していただいているお取引先の証券会社にお問い合わせください。
- 2 証券会社に口座を開設していない株主様
証券会社に口座に登録をしていない単元未満株式は、当社が三井住友信託銀行株式会社に開設した特別口座に登録されておりますので、上記「株主メモ」欄の電話照会先にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 5月

基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当金 2月末日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
中間配当金 8月31日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告いたします。

[公告掲載アドレス] <http://www.lifecorp.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

単元株式数 100株

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についての住所変更等のお届出及びご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページのご案内

当社ホームページでは財務情報のほかにも、お店のチラシやネットショップ、ネットスーパーなどのお買い得商品の紹介、お料理レシピや社会・環境活動報告書をご覧いただけます。ぜひご利用ください。



<http://www.lifecorp.jp/>